



一般財団法人 日本バプテスト連盟医療団
Japan Baptist Medical Foundation



からだ、こころ、たましい

心身を癒す場として歩み続けたい



ご挨拶

1955年7月、日本バプテスト病院は米国南部バプテスト連盟外国伝道局の支援のもと、現在までの私どもの基本理念である「全人医療の実践」を担うクリスチャニヤスを育成するための医療機関として、ここ北白川の地に設立されました。設立以降、地域の皆様、日本バプテスト連盟の皆様など多くの方のご助成に支えられ、日本バプテスト看護専門学校、バプテスト老人保健施設、バプテスト訪問看護ステーションしおんで構成される医療団として活動させていただいています。

医療は本格的な高齢化社会を迎え、病院を中心とした考え方から、地域を中心に据える考え方へと変化してきています。このことは「治し、支える医療」への転換という新しい試みであると我々は捉えています。当医療団は、現在までに培った経験をもとに更に地域に根差し、「住み慣れた地域で自分らしい生活」の実現を社会と共に目指してまいります。具体的には、病院は、急性期医療を展開するとともに地域の皆様の安心につながるよう救急医療にもさらに力を注いでまいります。老人保健施設は、介護施設として利用者の方の生活機能の維持やご家族の負担の軽減に役立つよう努めてまいります。バプテスト訪問看護ステーションしおんは、在宅で療養されているあらゆる疾病の方を支援すべく、新たな全人医療の実践の場として展開してまいります。

今後、高齢者の人口構成の変化により、医療・介護のニーズは益々高まり当医療団の施設だけでは限界があることは明白です。地域の医療機関、介護施設等との一層の連携のもと御協力をいただき、地域の皆様へ貢献してまいりたいと考えております。



代表理事 北 堅吉

Contents

- 01 ■ ご挨拶・目次
- 02-04 ■ 日本バプテスト病院
- 05-06 ■ バプテスト老人保健施設
- 07 ■ バプテスト居宅介護支援事業所
- 08 ■ バプテスト訪問看護ステーション しおん
- 09 ■ バプテスト地域医療介護支援センター
- 10 ■ 日本バプテスト看護専門学校
- 11 ■ 牧師室・沿革
- 12 ■ 事業所内保育園 ぶどうの実保育園・沿革
- 13 ■ 看護部
- 14 ■ 医療団アメニティ・福利厚生

日本バプテスト病院

ご挨拶

病院長 尼川 龍一



日本バプテスト病院は、米国南部バプテスト連盟と日本バプテスト連盟の支援のもと、1955年に北白川の現在の地に設立されました。当院は比叡山の麓にあり、すぐそばに五山の送り火で有名な如意ヶ嶽（大文字山）をのぞむことができます。緑豊かな自然に囲まれた静かな環境のなか、当院ではキリスト教精神のもと、開院以来一貫して全人医療を実践しております。病気（体）を治療するだけでなく、患者さんに心や魂の安らぎも感じていただけるよう、職員一同、日々努めております。また、当院には牧師室があり、礼拝や朝礼などの行事のほか、患者さんや職員の心のケアも丁寧に行っています。

当院は「地域の皆様に信頼していただける病院」を目指しています。当院は左京区における数少ない急性期病院の1つですので、「断らない病院」をモットーに地域の皆様のための急性期医療をしっかり担って行く所存です。地域に寄り添うこと、そして地域の皆様に安心していただける医療を提供することが私たちの使命であると心得ています。

当院は167床の病院ですが、多彩な診療機能を有しています。内科、外科、整形外科などの一般診療科のほか、消化器センター、地域周産期母子医療センター、ホスピス、リハビリテーションセンター、人間ドックなど複数の診療部門を設置しており、皆様からの様々なご要望にお応えできる体制を整えています。

さて、我が国はいよいよ本格的な高齢化社会を迎えようとしています。当院に入院される患者さんもお高齢の方が多いため、治療により病気が軽快しても介護支援なしには退院できないケースが増えています。当院はこのような状況をふまえ、地域医療介護支援センターを発足させました。当センターでは多職種によるチームワークを基盤に、急性期医療と介護支援を切れ目なくそして速やかに提供するように努めています。また、バプテスト訪問看護ステーション「しおん」を新しく立ち上げ、地域の診療所の先生や介護関連職の方と連携させていただくことにより、在宅療養支援を強化しています。地域医療構想や地域包括ケアシステムがいよいよ本格的に始動している今、当院は皆様との連携をさらに密にさせていただき、地域に根ざしたより良い医療介護を提供できるようベストを尽くしていきたいと思っております。

病棟数

167床

診療科目

- 内科
- 産婦人科
- 消化器内科
- 整形外科
- 循環器内科
- 脳神経外科
- 呼吸器内科
- 泌尿器科
- 神経内科
- 放射線科
- 糖尿病内科
- リハビリテーション科
- 血液内科
- 麻酔科
- 外科
- ホスピス
- 小児科
- 腎臓内科

看護単位

看護11単位

（病棟 5、HCU 2、NICU、外来、手術室、消化器センター）

病棟種別

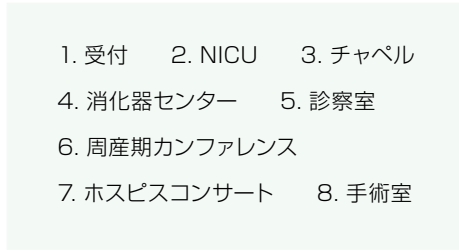
- NICU（新生児特定集中治療室）
- HCU（ハイケアユニット）
- ホスピス（緩和ケア病棟） ● 一般（7：1）

患者サービス

- 24時間救急医療体制（周産期医療含む）
- 母親教室 ● 母乳外来 ● 助産師外来
- 妊婦検診 ● 2週間検診 ● リンパ浮腫外来
- マタニティ・ヨガ教室 ● 糖尿病教室
- 栄養相談 ● 退院支援
- 電話相談（診療相談・ホスピス緩和ケア相談）

取り扱い指定

- 保険医療機関 ● 救急指定病院 ● 労災保険指定病院 ● 生活保護指定病院 ● 更生医療指定病院
- 結核予防法指定病院 ● 療育医療指定病院 ● 健保連短期人間ドック指定病院
- 胃がん・大腸がん検診二次精密検査医療機関 ● 政府管掌健康保険生活習慣病予防検診実施医療機関
- 入院助産制度指定医療機関 ● 各企業（法人）指定入院・外来ドック ● 小児慢性特定疾患治療研究取扱医療機関
- 予防接種 ● 原爆医療指定病院 ● 協力型臨床研修指定病院



- 1. 受付 2. NICU 3. チャペル
- 4. 消化器センター 5. 診察室
- 6. 周産期カンファレンス
- 7. ホスピスコンサート 8. 手術室

基本理念

日本バプテスト病院の基本理念は全人医療です。
 人間は「からだ、こころ、たましい」からなる全人格的な存在です。
 当病院はイエス・キリストの隣人愛に基づき、
 全職員がよいチームワークを保ち、専門的知識と技術を活かして、全人医療の業に専念します。

基本方針

1. わたしたちは一人ひとりが全人医療の実践に努めてまいります。
2. わたしたちは一人ひとりが患者第一主義の実践に努めてまいります。
3. わたしたちは一人ひとりが地域医療ネットワークへの貢献に努めてまいります。

患者の皆様の権利

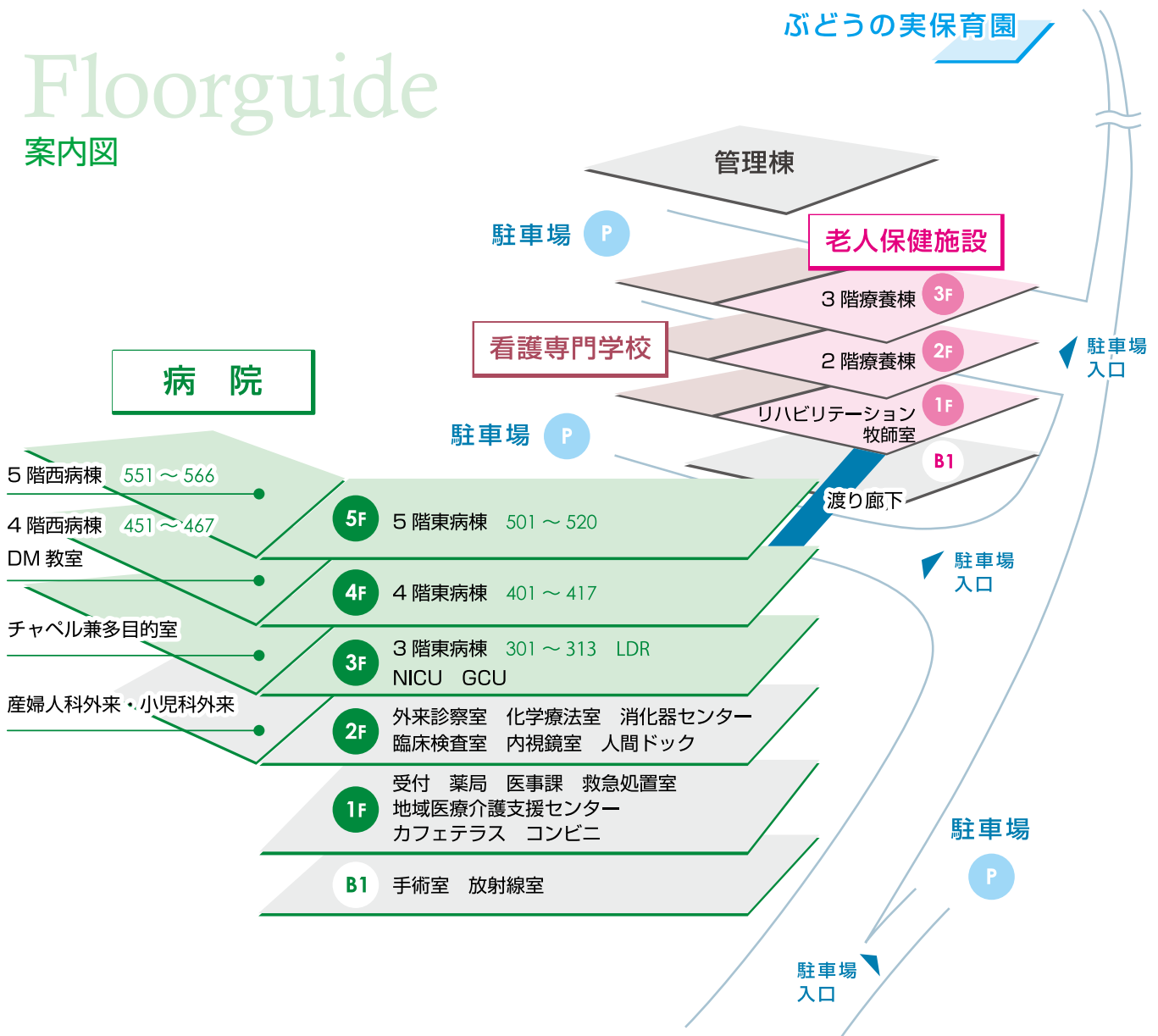
1. 一人の人間として、その人格、価値観などが尊重され、当院における最善の医療を公平に受けることができます。
2. プライバシーが尊重され、診療上得られた個人の情報は保護されます。
3. 症状と経過、検査や治療の内容などについて十分な説明を受けることができます。
4. 十分な説明と情報に基づき、自らの意志で医療内容を選択できます。
5. 必要に応じて適切な医療機関の紹介を受けることができます。
6. 自らの診療情報の開示を求めることができます。
7. 医療費の内容の説明を受け、公的援助の情報を取得できます。

「温かみのある環境と 安心を与える医療を皆様に」

さまざまな職種の専門職がチームを組み、患者の皆様のために最善・最良の治療、療養環境を提供するため日々努めています。

Floorguide 案内図

ぶどうの実保育園



日本バプテスト病院フロアガイド URL

<http://www.jbh.or.jp/about/floorguide.html>



日本バプテスト病院

TEL 075-781-5191 (代表) FAX 075-701-9996 URL <http://www.jbh.or.jp/>



バプテスト老人保健施設



ご挨拶

施設長 中田 裕久



京都北白川の爪生山のふもと、木々のみどりの美しい自然に囲まれたバプテスト老人保健施設は、日本バプテスト病院の併設施設として1999年4月に開設されました。バプテスト老人保健施設は病院と自宅、医療と福祉をつなぐ中間施設として、利用者の皆様とご家族の皆様に心から満足していただけるように“全人介護”の理念のもとでいろいろなサービスを行っています。個人個人の人格の尊厳を守り、安全に最大限の配慮をしながら、老化や疾病で障害を受けた身体と精神の回復を図るよう努めています。また、リハビリテーションを通じて身体能力の回復と維持を図り、生活機能の向上を目指し、社会や家庭へのスムーズな復帰と自立した生活ができるよう配慮しています。病院から直接自宅への退所が困難な方々には入所していただき、在宅での生活ができるように支援いたします。病院や老人保健施設から自宅に帰られた方々をはじめ、在宅で療養を続けておられる方々には、通所リハビリテーション（デイケア）や短期入所（ショートステイ）なども利用できます。老人保健施設のご利用を検討されている皆様、お気軽にご相談ください。バプテスト老人保健施設では皆様のご利用を心からお待ちしております。

Section セクション紹介

通所リハビリテーション

通所リハビリテーションの一日を紹介します。

8時10分から順次5台の施設送迎車がご自宅までお迎えに伺います。

施設到着後、体温や血圧測定を実施し入浴を順次行います。入浴の空き時間を利用して朝学習（漢字や計算問題）を提供、他にもリリアン等の簡単な編み物を提供し指先のリハビリを勧めています。午後からは皆さんで行うリハビリを実施しています。リハビリ職員による小集団での運動指導や介護職員による生活リハビリにも取り組んでいます。

季節の作品作りやレクリエーション、音楽療法士による音楽会やお茶会などボランティアの方にも来ていただき楽しんで頂いています。14時45分におやつを食べられた後、15時10分ころよりご自宅へお送りします。ご利用者の皆様が楽しく生き活きと在宅生活が送れるよう日常生活すべてがリハビリと考えています。日常生活を通して今ある心身機能を高め利用者様のよりよい生活に向けて援助します。



バプテスト老人保健施設支援相談室

支援相談室は、入所や短期入所療養介護（ショートステイ）、通所リハビリテーション（デイケア）をご希望の方への利用相談をはじめ、利用面接から入所調整、その後の療養中の生活相談、これからの生活環境についての相談などを通じて、ご本人やご家族が安心して施設を利用し、可能な限り在宅生活を継続していただくための地域との橋渡しの役目を担っています。



Introduction

バプテスト老人保健施設の基本理念

バプテスト老人保健施設の基本理念は全人介護です。

人間は「からだ、こころ、たましい」からなる全人格的な存在です。当施設は、イエス・キリストの隣人愛に基づき、全職員が良いチームワークを保ち、専門的知識と技術を活かして、全人介護の業に専念します。

療養棟

医師・薬剤師・看護師・介護福祉士・管理栄養士・理学療法士・作業療法士等の連携のもとに、自立支援に向けてのサービスを提供しています。そして少しでも利用者様がご家庭で生活できるように支援しています。



看護・介護部

私たち看護・介護部はさまざまな経歴を生かし、ショートステイ、入所、通所サービス利用者の方の疾病予防や異常の早期発見に努め、一人ひとりの生活パターンや行動、性格など把握し、個別性を配慮した援助やレクリエーションを提供します。これからも皆様が健康に笑顔でよりよい人生を送られますよう、スタッフ一同心を合わせて努めて参りたいと思います。



栄養課

高齢者の欠食などによる低栄養は様々な疾患に繋がる恐れがあります。毎日の三食は生活のリズム作りにとっても大切です。規則正しく、バランスよく召し上がられることで活動力を向上させることができます。

施設ではその方の嗜好、咀嚼嚥下などに合わせた食事を提供いたします。また、行事の折には行事食を楽しんで頂きます。



リハビリテーション

当施設では入所、通所ともに利用者の方が自分らしく生活できることを目指しています。スタッフが個々に応じて日常生活に関わる動作の練習を行なっています。安全に活動できる環境づくりのアドバイスや、転倒予防の運動、ご家族への介護方法指導等、ご自宅での生活に活かすための訪問指導も積極的に行なっています。



事務部

事務部での業務内容は介護請求事務全般の他、受付・電話対応・書類整理・パソコン入力・施設行事案内・庶務など様々な業務を行っています。

また、ご本人様やご家族の方と受付や電話にて一番最初に接する重要な部署であると認識しています。そのため施設の顔として日々接遇やマナーには気をつけるよう努力しています。



バプテスト居宅介護支援事業所



当事業所では、介護保険法の趣旨に従い、ご利用者がご自宅において日常生活を営むために必要な介護保険等のサービスを適切に利用できるよう、要介護者とサービス提供事業者等との調整を行い居宅サービス計画（ケアプラン）を作成いたします。

また、要介護認定にかかる代行申請も致します。

在宅で生活されている方はもちろんのこと、現在、入院・入所中で今後の在宅介護全般についてのご相談をお受けしています。

こんなときはご相談ください

- 高齢の家族が病院を退院することになり、自宅で介護が必要となったがどうしたら良いのかわからない
- 認知症かもしれない症状が出てきているので、少し刺激のある生活をしたい、してもらいたい
- 体の動きが悪くなって、自宅で入浴するのが大変になってきた
- 足腰が弱くなってきて、リハビリできるところがないか聞いてみたい
- 一人暮らしでだんだんと自分で家事ができなくなってきた
- これから自宅で生活していくに当たって、介護サービスや各種制度を活用できないか？

<特徴>

医療と介護の連携に努めています

急性期病院併設の居宅介護支援事業所としての強みを生かし、入院中から病院と連携し、安心して退院できるよう支援いたします。

特定事業所として認められています

一定数の常勤ケアマネジャーと主任ケアマネジャーの配置、24時間相談連絡体制、ケアマネジャーの教育体制を有し、中重度者や支援困難ケース等質の高いケアマネジメントを実施している事業所として認可を受けています。

などなど、介護にまつわる相談ごと、まずはお気軽にお電話ください。

<営業日・営業時間>

月～土 9:00～17:00

<休業日>

日曜日・国民の祝日・年末年始

<サービス提供地域>

左京区内の学区で規定しています。
詳しくはお問い合わせください。



バプテスト 訪問看護ステーション しおん

住み慣れた生活の場へ 看護師などが訪問しサポートします。
ご希望の方は、夜間も電話相談や緊急訪問に対応いたします。

かかりつけ医の指示に基き、専門的知識や技術をもった看護師などがご家庭や住み慣れた生活の場へ訪問し、ご本人や介護者様の意思を尊重しながら療養上の必要な診療の補助や看護ケアサービスを提供いたします。

訪問看護の対象

あらゆる疾病や障害を持ちながら療養生活をされているご本人と、介護をされているご家族をサポートいたします。

訪問看護サービスの内容

かかりつけ医からケア上の留意などをいただく場合があります。
また、関連機関と連携をとりながらサービスを提供いたします。

援助の内容

健康状態の観察と助言

- 血圧・体温・呼吸・脈拍などの測定
- 病気や症状の観察と助言
- 心の健康と相談
- 食事内容や栄養指導

医師の指示による医療処置

- 床ずれなどの処置
- 吸引および指導
- 胃ろう、留置カテーテルなどの管理
- お薬の相談
- ストーマケア
- 在宅酸素や人工呼吸器などの管理

日常生活の看護

- 身体清拭、洗髪、入浴、爪切りなど清潔のケア
- 食事や排泄のケア
- 寝たきり、床ずれ予防のためのケア

リハビリテーション

- 関節の運動、筋力低下予防の運動
- 日常生活での食事、排泄、移動、歩行、言語などの訓練

認知症ケア

- 認知症の介護、精神疾患の相談
- 悪化防止、事故防止の助言

介護予防

- 健康管理や環境設備
- 低栄養や運動機能低下を防ぐアドバイスなど

ターミナルケア（終末期看護）

その他

- ご家族や介護者の心配、悩み事の相談
- 社会生活への復帰援助
- 他のサービス制度のご紹介
- 介護方法や工夫の助言
- 介護用品や福祉用具の利用相談

主な訪問エリア

左京区（中央・南部）

※ 訪問エリアにつきましてはご相談させていただきます。



住み慣れたこの地で
自分らしく生きていく
でも自分らしい生き方ってなあに？
ちょっと不安なあなたへ
ほんの少し 勇気をだして
話してください
おしえてください
しおん…それは、癒しのところ
しおん…それは、想うところ
しおん…それは、願うところ
わたしたちは
あなたに寄り添います



バプテスト地域医療介護支援センター

当センターでは、日本バプテスト病院への受診、入院から退院、そして退院後の通院や療養などに関して、当医療団の持つ医療・介護の機能を十分に発揮し、患者さんや利用者さんが住み慣れた地域で自分らしく、安心して療養できるようお手伝いさせていただきます。

また、地域の医療機関や公的機関、サービス事業所等の皆さまと連携しながらお一人お一人のご希望に合わせて支援をいたしますので、お気軽にご相談ください。

医療機関の皆様からの受診、検査の依頼
転院依頼、緩和ケア相談など

地域医療連携室

TEL 075-702-5951



療養上の生活相談、
各種福祉制度利用、
社会復帰支援、
経済的問題に関する相談など

医療福祉相談室

TEL 075-702-5971

医療介護関連機関からの
入退院に関する相談、
お問い合わせなど

入退院支援室

TEL 075-702-5971



バプテスト地域医療介護支援センター

URL <http://www.jbh.or.jp/about/section/chiiki.html>



日本バプテスト看護専門学校



「 緑溢れる大文字山麓で キリスト教精神に基づいた看護を学ぶ 」 Japan Baptist School of Nursing

教育理念

本校はキリスト教精神を教育の基本理念とし、専門職業人としての教育を行い、豊かな人格の形成及び個人ならびに社会に貢献する有能な看護師の育成を目指すものである。

教育目的

キリスト教精神に基づき、看護師として必要な知識・技術及び豊かな人格を持つ人材を育成することを目的とする。



本校の特色

1. キリスト教精神

1966年に米国南部バプテスト教会の祈りと支援によって設立されて以来、キリスト教の隣人愛に基づいた全人医療を実践できる看護師の育成を目指し、ひとりひとりの「心の成長」を大切にしています。

2. 恵まれた学習環境

京都市北白川の静かな深い緑に囲まれ、同一敷地内及び近隣にホスピス・NICUを持つ総合病院他、老人保健施設・訪問看護ステーション等を有し、これからの地域包括ケアシステムを見据えた、少人数制によるきめ細やかな教育を行っています。



牧師室

「隣人愛の実践」

主な働き

- 礼拝
 - 施設訪問
 - カウンセリング
 - グリーフケア
 - 音楽療法
 - チャペルコンサート
- など

牧師室は、1955年の日本バプテスト病院開院当初から、患者・ご家族の皆様の宗教的・精神的なケアを担っています。病院をはじめ医療団の各施設では人間を神の驚くべき素晴らしい知恵と計画によって造られた存在として、「からだ」だけでなく「こころ」と「たましい」の癒しをも含めた、キリスト教の隣人愛に基づく全人医療・全人介護に努めています。聖書に基づいた人間の全人的な癒しと救いに貢献することを目的として、牧師室では、日々人々との出会いを大切にしながら、施設で過ごす全ての人々がこころ豊かに過ごせるよう働きを続けています。

イエスはすべての町々村々を巡り歩いて、諸会堂で教え、御国の福音を宣べ伝え、あらゆる病氣、あらゆるわずらいをおいやしになった

(病院設立聖句・マタイによる福音書9章35節)

イエス・キリストの隣人愛に基づき、出会うすべての人々の全人的な癒しと救いに貢献することを目的としています。



牧師室 URL

<http://www.jbh.or.jp/about/section/bokushi.html>



一般財団法人 日本バプテスト連盟医療団 法人沿革

1954年 (昭和29)	1955年 (昭和30)	1966年 (昭和41)	1976年 (昭和51)	1990年 (平成2)	1995年 (平成7)	1999年 (平成11)	2000年 (平成12)	2003年 (平成15)	
日本バプテスト診療所として発足	財団法人日本バプテスト連盟医療団設立	日本バプテスト病院を開設	日本バプテスト看護学院を開校	日本バプテスト看護専門学校医療専門課程認可	在宅診療部設置・訪問看護を開始	ホスピス(京都府第1号)開設 NCC(京都府第1号)開設 救急指定病院 バプテスト訪問看護ステーション開設	バプテスト老人保健施設開設 バプテスト眼科クリニック開設	バプテスト老人保健施設居宅介護支援事業所開設	日本医療機能評価機構認定 Ver.5

事業所内保育園 ぶどうの実保育園

かねてより職員から要望があった事業所内保育園が2013年4月に完成、無事開園致しました。

設置場所、規模、また厚生労働省の施設基準に沿った構造、設備であり、園児たちの生活環境を重視し、自然に恵まれたなかで日々過ごせるように考えております。

「ぶどうの実保育園」という名称は、聖書のヨハネによる福音書15章に由来しています。大きな存在に守られて、子供たちが心豊かに、健全に育つ保育園となる願いを込めています。

園児の安全面に関しては、保育室各部屋に最新のウェブカメラ（写真）を設置し、保護者の方が携帯を使っていつでも園児の保育の様子を確認できるように配慮をしています。

また、園内で快適な生活が送れるよう床暖房、給湯手洗いとし設備面での充実も図っています。職員の皆さんが、安心して職務に就けるよう、福利厚生の一環として運営を行っております。



設備・園内にカメラを設置しており、保護者の携帯から随時園内の様子を見ることができます。



2006年
(平成 18)

日本バプテスト病院第一期工完了

2009年
(平成 21)

バプテスト在宅ホスピス
緩和ケアクリニック開設

2010年
(平成 22)

日本バプテスト病院第二期工完了

2012年
(平成 24)

バプテスト老人保健施設居宅介護支援事業所を
バプテスト居宅介護支援事業所に名称変更

一般財団法人へ移行

2013年
(平成 25)

ぶどうの実保育園開園
日本医療機能評価機構認定
Ver.6

2015年
(平成 27)

バプテスト訪問看護ステーションしおん開設
バプテスト眼科クリニックを
バプテスト眼科山崎クリニックとして
医療団より独立

2016年
(平成 28)

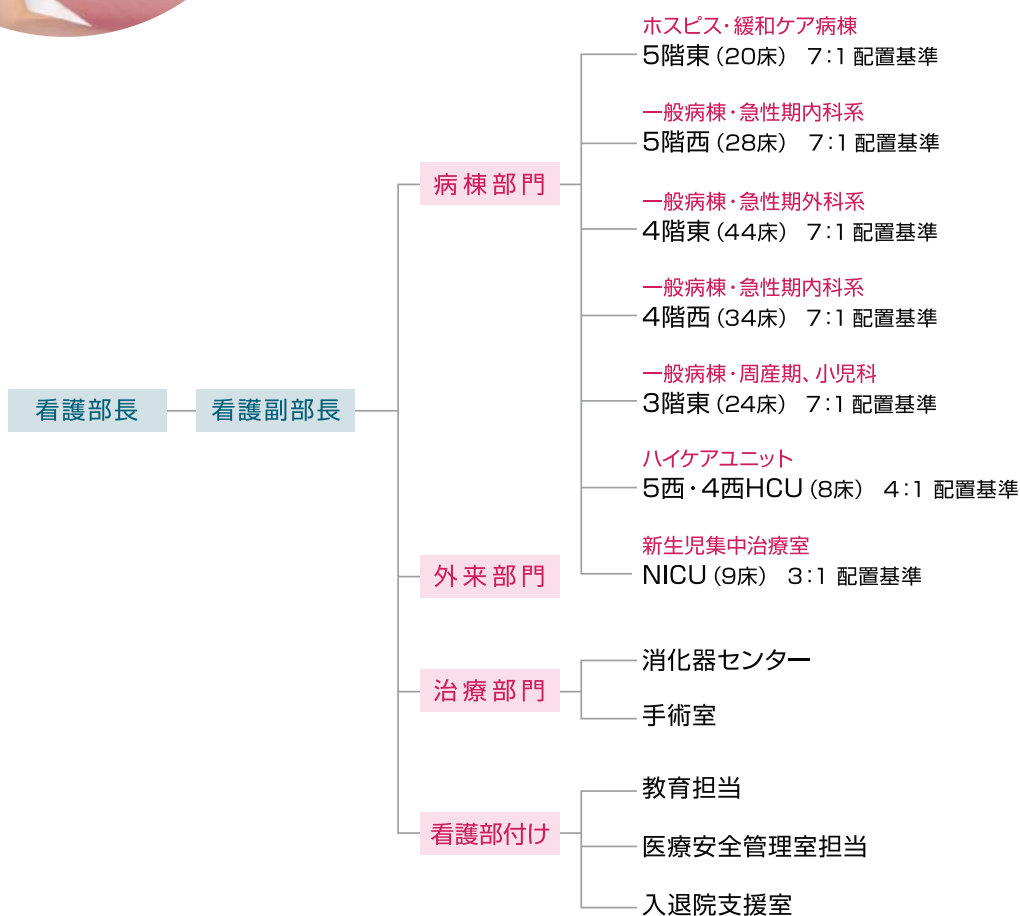
バプテスト在宅ホスピス緩和ケアクリニックを
渡辺緩和ケア・在宅クリニックとして
医療団より独立

看護部

日本バプテスト病院看護部のご紹介



当病院は大文字山を目前に望み、自然豊かで緑に囲まれた環境は、患者さんにとって快適な癒しの空間となっています。環境が与える患者さんの回復力もさることながら、キリスト教精神に基づいた「全人医療」と「隣人愛」の理念のもと、病める人に慈しみの手をさしのべられるよう、また心に寄り添いながら生命の質を維持できるよう、クリスチャンでないスタッフも共に力を合わせて看護を実践しています。看護単位は外来、手術室、消化器センターの他に、新生児集中治療室（NICU）と周産期病棟、HCU、一般病棟、ホスピスを備えています。認定看護師を積極的に配置し、充実した看護が提供できる環境づくりに取り組んでいます。



* 看護方式…パートナーシップ

小さな規模であっても、それぞれの分野に深い見識を持ったスペシャリストの集合体となれるよう、また自立した看護師として成長できるように新人研修を始め、院内のクリニカルラダー、キャリア開発に向けた院外研修や学会など、主体的に活動しています。（資格制度に関しては、サポート体制を導入）

人に愛され、地域に根ざした皆様に喜ばれる看護部でありたいと願っています。



看護部URL

<http://www.jbh.or.jp/about/section/kango.html>



看護部動画URL

<http://www.jbh.or.jp/about/section/kango/profile/movie.html>



医療団アメニティ・福利厚生

日本バプテスト連盟医療団として、
アメニティ・福利厚生の充実に力を入れております。



院内コンビニ (ファミリーマート)

街のコンビニと同じ営業内容です。
患者さん同様、職員も利用できます。



院内喫茶店 (オリーブ)

「神戸屋」のパンを院内で毎朝焼き上げており、
販売しております。
もちろん店内で飲食して頂けます。



職員食堂

昼食のみですが4種類の定食が選べ、職員に大人気です。

職員食堂

職員寮

医療団敷地内に完備しております。



職員寮

共済会

- 慶弔見舞金
- 同好会 (テニス・ウクレレ・子育て応援…etc)



餅つき大会



病院イルミネーション



各行事イベント

- クリスマス関連行事・
病院イルミネーション
- 餅つき大会
- 研究発表会
- シオン祭 (文化祭)

福利厚生URL

<http://www.jbh.or.jp/for-medical/recruit/welfare.html>





🚗 お車でお越しの方

北白川別当交差点（白川通と御蔭通の交差点）を東（山中越え方向）へ約400m進み、病院の看板がある交差点を北側へ入ってください。

○ 駐車場 収容台数 / 80 台

駐車場が混み合いますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。

病院玄関から駐車場の間は坂道のため、診療時間内は送迎バスを運行しています。

🚌 シャトルバスを運行しています

日本バプテスト病院、別当町、銀閣寺道を結ぶシャトルバス（無料）を運行しています。

運行時刻等、詳しくはお問い合わせください。

時刻表 URL <http://www.jbh.or.jp/bus.html>



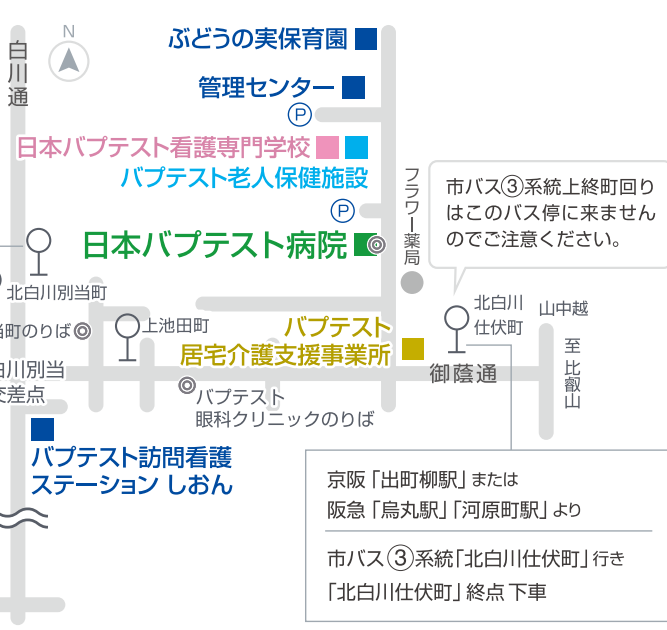
交通機関をご利用の方

◎ シャトルバス乗り場

地下鉄「北大路駅」より
市バス(204)系統「銀閣寺」行き
「北白川別当町」下車

「京都駅」または「三条京阪駅」より
市バス(5)系統「岩倉操車場」行き
「北白川別当町」下車

🚶 病院へは徒歩10分



市バス③系統上終町回りはこのバス停に来ませんのでご注意ください。

京阪「出町柳駅」または
阪急「烏丸駅」「河原町駅」より
市バス(3)系統「北白川仕伏町」行き
「北白川仕伏町」終点下車

🚶 病院へは徒歩2分

一般財団法人

日本バプテスト連盟医療団

総合病院 日本バプテスト病院

バプテスト老人保健施設

バプテスト地域医療介護支援センター

バプテスト訪問看護ステーション しおん

バプテスト居宅介護支援事業所

日本バプテスト看護専門学校

お問い合わせ

日本バプテスト連盟医療団事務局

TEL. 075-702-5988 (総務課)

TEL. 075-702-5957 (人事課)

FAX. 075-702-6417 (人事課)

MAIL. jinji@jbh.or.jp (人事課)